

記入例

様式第2号（第4条関係）

誓 約 書

2020年7月1日

（あて先）千葉市長

住 所 千葉市中央区千葉港1番1号

法 人 名 ヘアサロンEPARK

代表者名 千葉 太郎



※申請者（法人にあたってはその代表者）が自署しない場合は、記名押印すること。

千葉市理美容店感染症対策協力金申請に関し、以下に掲げる全ての項目について、事実と相違ないことを誓約します。なお、誓約した事項に偽りがあることが判明した場合には、支給された千葉市理美容店感染症対策協力金を全額返還すること、事業所名及び所在を公表すること、他の千葉市補助金等の交付に関する申請を行うことができないことを同意します。千葉市が実施する理美容店促進事業においても本誓約書に掲げる全ての事項について準用することに同意します。

- 1 申請書の記載内容及び添付書類に一切の虚偽がないこと。
- 2 千葉市が示す新型コロナウイルス感染症対策を行っていること。（裏面チェックリスト）
- 3 虚偽又は不正な手段により協力金を受給しないこと。
- 4 関係する法令等の規定を遵守していること。
- 5 次のいずれかに該当する者でないこと。
 - （1）役員等（非常勤を含む役員・監査役及び支配人並びに営業所の代表者、及び市との取引上の一切の権限を委任された代理人（以下「役員等」という。））が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）であると認められる者。
 - （2）暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団（以下、「暴力団」という。）又は、暴力団員が経営に実質的に関与していると認められる者。
 - （3）役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正に利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしたと認められる者。
 - （4）役員等が、暴力団や暴力団員に対して資金等を供給し、若しくは便宜を供与するなど直接的若しくは積極的に暴力団の維持や運営に協力又は関与していると認められる者。
 - （5）役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められる者。
- 6 役員等に、法律行為を行う能力を有しない者又は禁固刑以上の刑に処せられている者がいないこと。
- 7 第4項及び前項に該当することとなった場合には、直ちにその旨を届けること。また、該当の有無等に関して調査が必要となった場合には、千葉市が求める必要な情報又は資料を遅滞なく提出するとともに、その調査に協力し、調査の結果、該当することが判明した場合には、支給の決定を取り消されても、何ら異議の申し立てを行わないこと。
- 8 本誓約書を千葉県警察に提供することに同意すること。

記入例

新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト

- ☑ 毎日、従事者の健康状態を確認し、体調不良者は出勤していません。
- ☑ 従事者の健康状態を確認し、体調不良者は出勤していません。
- ☑ 施設内を十分に換気しています。
- ☑ 肌に触れる器具や布類は、客一人ごとに消毒した清潔なものを使用しています。
(消毒は、法令で定められた方法で正しく行っています)
- ☑ 椅子やカウンターなど、お客様が触れる設備を定期的に消毒しています。
- ☑ お客様同士の間隔が空くようにご案内しています。
- ☑ 施術中の会話は控えめに、対面での会話は最小限にしています。
- ☑ 体調がすぐれないお客様には、来店を控えるようお願いしています。
- ☑ お客様にも、入店時の手指消毒や咳エチケットへのご協力をお願いしています。
- ☑ 感染症発生時に備え、顧客名簿（利用者名簿）を整備し、お客様と連絡が取れるようにしています。
また、個人情報の取り扱いには十分に注意しています。